

学校だより
NO 12
R6 12/23

敬愛 (けいあい)

甲斐市立敷島中学校
編集 校長 山本成利

学校教育目標

一人一人の個性を伸ばし、自ら学ぶ生徒の育成を図る

今という瞬間を大切に

いよいよ令和6年もあと少しとなりました。1月1日の能登半島地震からはじまった令和6年、当たり前のことが当たり前ではないこと、日常生活が送れることへの感謝の気持ちをもつこと、そして、有事への備えの大切さを改めて考えさせられる機会となりました。

さて、インフルエンザのまん延防止のために、先週は1学年の学年閉鎖の措置をとり、後期生徒総会、延期をしてきた生徒会役員選挙も本日、そして終業式もリモートで行いました。また、1年生の三者懇談についても、閉鎖期間中の18日、19日は、保護者の皆様との懇談とさせていただきました。ご理解とご協力ありがとうございました。さて、一番長い学期である2学期が終わろうとしています。(2学期は78日間ありました。1年生は75日間になります) 猛暑のなかの2学期のスタートから、寒さも厳しくなってきたここまで、保護者の皆様方には、今学期もご理解とご協力をいただきましたことに、改めて御礼申し上げます。今学期、教育活動を順調に進めることができましたのも、全校生徒や保護者の方々のご理解とご協力のお陰であると感謝しています。これからもよろしくお願い致します。

<2学期終業式 式辞>

はじめに、全校生徒のみなさんが、大きな病気や交通事故等がなく、無事に2学期を終えることができたことをたいへんうれしく思います。さて思い返してみると、年輪祭や合唱祭などの行事は、全校生徒のみなさんの協力のお陰で、心に残る素晴らしいものとなりました。年輪祭や合唱祭をはじめ、様々な行事で、また日常生活のなかで、敷島中学校の素晴らしさ、みなさんの頑張りをたくさん見ることができ、私もたくさんの感動をもらいました。また、運動部の活躍だけでなく、今学期は吹奏楽部の西関東大会出場、また2年生の丸山美珠さんが山梨県中学生交通安全弁論大会で優勝したのをはじめ、様々なところで敷島中の生徒の素晴らしい活躍がありました。

さらに本校では「生徒一人ひとりが大切にされる」学校づくりを昨年度から進めてきました。来年度からの新しい制服の導入、「生徒心得」の制定と、その目標達成のために今年度は大きく前進することができました。特に、生徒会本部役員のみなさんは、敷島中学校の伝統を継承し、さらに発展していけるようにと、また「生徒一人ひとりが大切にされる」学校づくりのために、「生徒心得」の原案づくりから臨時生徒総会の企画運営まで中心となって活動してくれました。伝統ある敷島中へ新たな歴史の1ページを創出してくれたことに改めて感謝します。そして、ここにいる全校生徒のみなさん一人ひとりが、これからの「未来の敷島中の創り手」であることを自覚し、さらに素晴らしい敷島中を創ってほしいと願っています。3学期は、「生徒心得」のもと、1、2年生は学校生活を送る試行期間となります。敷中生としての自覚と誇りをもって生活していくことを願っています。

さて、「正念場」(しょうねんば)という言葉があります。正念の「念」という字は、「今」と「心」と書きます。「正」しく、迷いなき「今」の「心」!、迷いや誘惑に負けない「正」しい「心」で「今」すべきことに最善の努力をする・・・。「正念場」とは、真価を表すべき最も大事なところ、ここぞという大切な場面のことです。特に入試に向かう3年生にとっては、これからがまさに「正念場」となります。苦しみを乗り越えてこそ喜びがある。苦勞せずに得た幸せは、泡のようなものです。みなさんには辛抱と我慢を重ね、あきらめずに前進を続けてほしいと思います。本物の喜びを得るために、この「正念場」に挑んでほしいと思います。今日で2学期が終わり、今年から来年へという節目のとき、敷中生の一人ひとりが自己をしっかりと見つめ、正しく迷いなき「今」の「心」で夢を見つけ、志を立て、目標に向かって前進する時としてほしいと思います。

冬休みは「年末のあわただしさ」と正月の「のんびりムード」についつい引き込まれます。冬休みを有意義に過ごせない人のほとんどは、このムードに浮かれて流されてしまうことが原因です。特に3年生は周囲が年末年始モードのなか、ひとり机に向かい受験勉強に励むわけですからかなりの「強い意志」が必要です。

しかし、一緒に頑張っている仲間がいることを糧に、今を一生懸命生きること、今やることに全力を尽くすことで、未来は変えられることとなります。だからこそ未来をつくるには、今が大切になります。このことを2024年の締めくくりに、みなさんに伝えたいと思います。明日からの冬休みは、16日間と短いです。しっかりと目標を立てて、計画をねって、3学期に向けての準備を進めてください。また、年末年始も含めて新型コロナウイルスやインフルエンザ等への対策も油断せず、続けていってほしいと思います。充実した冬休みを過ごし、年あけの、令和7年1月9日に、みんな元気に、ここで再会できることを楽しみにしています。

〈生徒代表から〉

☆2学期は年輪債や合唱祭などの行事を通して、仲間と協力し、一つの目標に向かって努力することの大切さを学ぶことができました。今学期、1学年生徒会では学校生活をより楽しく、過ごしやすいするためにチャイム席や学年レクなど様々な活動を行ってきました。しかし、まだまだ課題もあります。来年には、先輩という立場になります。そのためにも後輩を引っ張っていくという自覚を青学年全員が持って、活動に取り組んでいきたいです。2年生への準備期間である3学期に、できていないクラスの多かったチャイム席や提出物の活動に力を入れて取り組んでいきたいです。(1年2組 安達光咲さん)

☆この2学期は様々な場面で3年生の偉大さを感じました、先輩方が部活動を引退し、自分たちの代になったこと、年輪祭での縦割り練習、合唱祭での学年合唱、下駄箱チェックなどの日常の取組。どれをとっても「さすが3年生」と思うことばかりでした。僕たち2年生が目指す姿は、この赤学年の3年生と改めて実感しました。僕は先日サッカーの日本代表合宿に参加しました。それはサッカーの技術だけでなく学校生活で得た経験があったからだと思います。前期・後期の学級会長をさせてもらい、自分の足りない部分に気づくことが多いです。そんな自分と一緒に考えてくれるクラスメイトや正しい方向に導いてくれる先生もいます。だからこそ、人間的にもっと成長できるようにサッカーも日常生活も頑張ろうと思います。(2年2組 水上琥太さん)

☆特に私は年輪祭と合唱祭が印象に残っています。11月の合唱祭で私たちが歌った「リフレイン」は本番で一番良い合唱ができました。たくさんの方々から「感動した」という言葉でほめていただき、練習の成果がだせた実感できてうれしかったです。この2学期に強く感じたこと、それは仲間の大切さです。周りの仲間と協力したからこそ行事は勿論毎日の生活も一緒に楽しむことができました。中学校生活最後の行事をこの仲間たちと取り組めてよかったです。明日から冬休みになりますが、私たち3年生は、冬休みの後、受験があります。それぞれの目標を達成するために、この冬休みの過ごし方が大切になります。短い時間の中でひとつひとつできる努力をしていきたいです。そして3学期は私たち3年生にとって中学校生活の集大成です。受験という大きな壁がありますが「受験はチーム戦」という言葉のように、つらいときは仲間と共に進んでいきたいです。これまでお世話になった先生方への感謝の気持ちを忘れず、後輩により伝統を残せるように最後まで気を抜かず過ごし、卒業を迎えたいです。(3年3組 高野泰我さん)

☆同じ目標に向かって取り組むことができる仲間の心強さを生徒会本部に入って強く学ぶことができました。また、私たちの企画した活動と一緒に取り組んでくれる敷島中学校の仲間が、こんなにもたくさんいるということに感動しました。私たち令和6年度生徒会本部は、これで主となって行う活動は終了になります。次は、今日行われた生徒会役員選挙の結果を受けて、任命される生徒会本部のメンバーが新しい敷島中学校のリーダーとなります。私たち令和6年度生徒会本部の思いを引き渡したいと思います。そして、これからは活動を全力でサポートしていきたいと思っています。最後に、これまで生徒会本部の活動にご協力いただきありがとうございました。甲斐市初の試みである「心得の検討」や縦割り活動の復活など様々な活動ができたのはみなさんのご協力のおかげです。これからも全校みんなでより良い敷島中学校を創っていきましょう。(3年2組 堀内海音さん)

